

●ジョンソントウン再生プロジェクト

—米軍ハウスと想像的なコミュニティ、新たなライフスタイルが織りなすまちづくり—

住人と作った未来のタウン

15年前、ジョンソントウンは高齢化、老朽化し「磯野スラム」とも呼ばれ、磯野達雄は「良いまちにしたい!」と強く思いました。

その時、アメリカの田園都市に住んだ経験があり、永年「未来のまちづくり」をしたいと思っていた建築家渡辺治と出会い再生プロジェクトがスタートしました。

それから15年、23軒の「米軍ハウス」を改修し、米軍ハウスのDNAを継ぐ「平成ハウス」を35軒新築し、コミュニティが交流できる路地を整えた結果、若い文化的な家族が住み、一人もこどもが居なかったタウンは、50人以上になり、魅力的なお店も56を数えるまでになりました。

ワンデーマーケット、クリスマスのこどもたちのイベント、コンサートなど文化活動も活発になり、子育てをしながら自らの夢を実現する家族など、新しいライフスタイルも生まれ、磯野と渡辺の夢は実現のものとなりました。

ジョンソントウンは西武池袋線入間市駅から歩いておよそ20分。天気のよい日にぜひ散歩にでかけてみてください。



磯野達雄、渡辺治 2017.05